

iPS細胞培養用 ディッシュコーティング

| | |
|-----------|--|
| Objective | ヒト iPS 細胞をフィーダーフリーで培養するための培養ディッシュコート方法. |
| Materials | NP892-021 iMatrix-511 silk 15 mL チューブ(タンパク質低吸着性) PBS(-) 5mL & 10mL ピペット 1000 μ L ピペットマン& チップ アスピレーター 細胞培養ディッシュ |
| Methods | <ol style="list-style-type: none">iMatrix-511を、PBS(-)を用いて、培養器材をコーティングする濃度に希釈 推奨コーティング濃度: $0.5\mu\text{g}/\text{cm}^2$ ※細胞の種類や株、使用する培地によってコーティングの最適量は変化 初め$0.5\mu\text{g}/\text{cm}^2$からスタート→コーティング条件の最適化 使用例) 6ウェルプレート (9.6cm^2/ウェル) の場合 1ウェル当たり$0.5\text{mg}/\text{mL}$のiMatrix-511を$9.6\mu\text{L}$とPBS(-)を1.99mL = $2.4\mu\text{g}/\text{mL}$, $2\text{mL}/\text{ウェル}$ ***希釈を行う際は素早く。チューブは、<u>タンパク質低吸着処理の施されている器材を使う</u>37°C1時間 or 室温3時間 or 4°C一晩の静置細胞播種時に、iMatrix溶液を廃棄し、乾燥させずに速やかに細胞を播種 |